



令和3年7月1日現在

人口	14,286人
男性	6,905人
女性	7,381人
世帯数	6,794戸

今年も中止に

ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会



写真は全て過去のツール・ド・美ヶ原のもの

昨年緊急事態宣言発令後感染拡大に歯止めがかからない状況から中止を余儀なくされ、今年こそ開催を待ち望んでいた関係者、参加者の方も多かったことでしょう。

実行委員会では、定員の制限、スタートやゴール後の対応に工夫を凝らし、万全の対応で臨んでいたところでしたが、全国的な感染拡大には敵いませんでした。

新型コロナウイルス感染症の早期収束と、各行事が無事に開催されることを願うばかりです。



**大音寺山親子ウォーキング**  
6月26日  
土曜日に本郷地区子ども会育成会・本郷公民館主催の大音寺山親子ウォーキングが開催されました。

例年は、御殿山に足を運んでいましたが、松くい虫による枯死木の伐採作業が行われていたため、今年は大音寺山へコース変更となりました。参加は親子3組でしたが、当日は天気も良く気持ちのいいウォーキングでした。

山中、平成14年に起きた山林火災の激しさを物語る様に、今なお黒く焼け焦げた木々が残っており、市街地にいるだけでは分からない当時の様子を感じることが出来ました。また、山頂からの下山中には、雨の影響で崩れているところもありました。ここ数年で豪雨による災害が増えている中で身近に感じることも出来防災への意識が高まることも、非日常的な自然を感じ、心身のリフレッシュにもなりました。

来年はより多くの方に参加していただきたいと思いました。  
(浅間温泉第7町会 K)



4月1日  
日の人事  
異動で、  
本郷地区  
地域づく  
りセン



本郷地区地域づくり  
センター長挨拶

ター長を命じられました清澤秀幸です。正直、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

さて、着任して約4か月、本郷地区は、木々の爽やかな新緑や潤沢な湯に恵まれ、脈々と引き継がれた伝統文化と調和のとれた街並みがあり、ここに住みたいと思えるほどの優位性と可能性を持った地域だと感じています。

一方、松くい虫対策、コロナ禍における地域経済対策、道路の狭隘対策、地域福祉の充実など地域特有の課題も抱えています。

地域づくりセンター職員は、一致団結して、地域の課題の解決と発展のため、専心努力いたす所存です。私たちは、地域の皆さまの声を大切にするセンターを目指しますので、お気軽にお声がけいただきま

すと同時に、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お話し申し上げます。

6月22日、大規模改修工事のため休館中の松本市美術館の大西学芸員にお越しいただき、戦後美術を探ると題して講座を開きました。

戦後の前衛芸術の潮流を見ながら本郷国民学校で臨時教員をしていただいた藤松博さんにフォーカスを当て、草間彌生さんとの比較も交えながら講演をいただきました。



アートレクチャー学芸講座

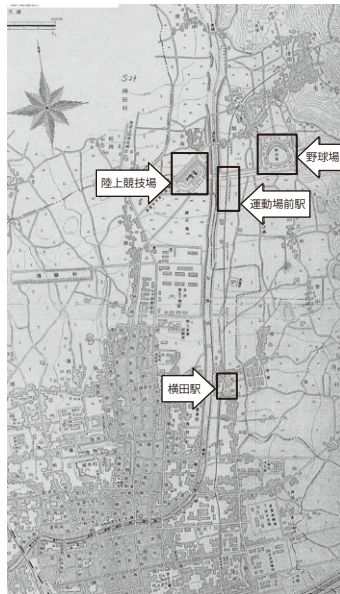
本郷支所・本郷図書館・本郷公民館人事異動紹介  
本郷地区地域づくりセンター・本郷支所  
センター長補佐  
江泉 良教→布山 智子  
本郷図書館  
館長  
(新規配属) ↓百瀬 智  
本郷公民館  
公民館主事  
小山 高志→分部 哲志



合併 50 周年特別企画

地図から見る本郷村

文書館で複写いただいた昭和 6 年 (1931 年) の松本市全図があります。そこに本郷村浅間附近と書かれていて、地図上に運動場前駅 (現在の松本第一高校前) から東に野球場、西に陸上競技場があります。当時を思えば、二つの大型体育施設に、温泉が加われば松本市の地図に本郷村を加えて掲載することもよくわかります。



昭和 48 年松本市都市計画図から抜粋



50 年によせて

のに、本郷村の横田地籍を駅名にしていて、合併前から市と村は連携しており、近くにあるとは言え本郷村の勢いを感じます。

街づくりは都市計画の策定から始まります。昭和 2 年 (1927 年) に松本市と本郷村を合わせて都市計画区域と指定されました。現在の都市計画地図を見ながら合併以前からの地道な連携に重みを感じます。

規模の大きな松本市にある 少し昔の地図を見て振り返ってみるのもいい事です。

(横田第 7 町会 T)

フリーコラム 古今東西

親子ホテル観察会にあたり...



写真上と左は洞のゲンジホテル乱舞の里 下写真は浅間温泉ホテルの里

コロナ禍の折、公民館事業のホテル観察会にあたり、ホテルに係る 66 才となった自分の想いを綴ります。

生坂村の生家の近くに裏山からの湧水が留まる小さな堤がありました。

春に「セリ」が採れ、初夏にはホテルが舞っていました。フワッフワッと弱々しく舞い遊ぶ光がまぶたを閉じると見えてきます。さらに、サーッと涼しげな風までも想い出されますが、さて、最後にホテルの光を観たのが何時だったかを思い出せませんでした。

「ホッ、ホッ、ホテル来いあつちの水は苦いぞ...こつちの水は甘いぞ...ホッ、ホッ、ホテル来い!!」ほのぼのとした唄の様であり、罨を思わせる詐欺まがいに聞こえるのは、年を重ねてきたせいなのでしょうか...

本郷地区

に居を構えて 20 年以上経ちますが、今年こそ観る事が

た地震、水害の際に避難場所としての調査をしたところ、耐震補強をするよりも今の状況に合った建物に新築した方が良いという事になり、建設委員会を立ち上げ、準備を進めていきましたが今春より申請が通り、現在建設が進んでいます。



できそうな、洞地区のホテルの里か、美鈴湖への登坂路のホテルの里で、忘れかけ、消えかけている記憶の光を、かわいい孫と観に行きりセットしたいものです。

(水汲町会 O)

北アルプスと浅間温泉 浅間温泉から見た北アルプス連峰は、多くの旅人たちを魅了してきた山並みです。

浅間温泉を訪れた旅人、特攻隊員、疎開児童、多くの文人墨客、近年観光客が少なく温泉街に歌が聞こえてこない淋しさがありますが、自然の景観は変わらず素晴らしいところだと思います。

かの川島芳子が処刑される前に浅間の写真を所望したという話を聞くと、いつか見た浅間からの北アルプス連峰を懐かしく思い出したのではと推察しました。

(浅間温泉第 2 町会 N)

三才山町会公民館新築

昭和 29 年に建築され、同時に保育園として使用された公民館ですが、ここ最近に起き

近年までの改築により玄関と中のトイレ、鉄骨の非常階段などが増え、立派な建物となり多くの行事やイベントに活躍してくれましたので最後は寂しさも感じました。

特に私は約 20 年間保育園としても使われていた時分の園児であり、写真は 2 年保育だった時の卒園式です。



今では戸数が減っている三才山町会ですが、当時は結構大勢の園児がいて、地域柄イナゴ捕りに行って、先生が佃煮にしてくれた記憶などが思い出されます。

67 年間の感謝と共に新しくなる公民館に期待します。(三才山町会 Y)